

## 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 12月分 各業界からのコメント

### ◎建設業

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられているが、年末・年始の人出の多くなる時期で、新たなる感染拡大への不安、オミクロン株の影響など不安要素が多々ある。
- ・また、原油高騰・ウッドショック・メタルショック等で製品製造ができず、影響も大きい。
- ・原油の高騰が続いており、業界は大変な状況である。
- ・これ以上高騰が続くと、ボイラ燃料を液体燃料から気体燃料（ガス化）に変換を希望する企業が多発すると考える。今後の動向に注意し、良い流れに乗れるような行動をとればと考えている。
- ・コロナウイルスの影響がまだ続いており、工事が先送りになっている。
- ・売上、利益ともに悪化傾向にある。
- ・民間工事が順調に推移している。
- ・コロナ感染者が落ち着き、受注も順調に回復していた中で、今回のオミクロン株の発生が株価に早くも影響を与えている。
- ・懸念される第6波はオミクロン株になるのか注視していく必要がある。

### ◎製造業

- ・古町通りの人通りが少なく、中心が万代に変わったことを感じる。三越撤退は大きく影響しているようで、個人的にも残念な思いである。
- ・相変わらず資材・購入品の納期に気をを使う状況。
- ・ウッドショック、メタルショック、半導体不足の影響がありながらも堅調である。
- ・原材料価格や資材、燃料そして電気代など広範囲にわたって値上げが続く。なかなかか価格転嫁が難しい状況で、売上は確保できても採算がとりにくくなっている。
- ・さらに、働き方改革等で、有給休暇や残業時間の管理に労力を割き、事務作業の面で大変な状況となっている。
- ・原材料高騰のため、収益の減少が懸念される。
- ・巷では賃金引き上げの方針が言われているが、現状では4%UPは難しい。政府への何らかの減税対策等（法人税軽減等）を要望する。

### ◎卸売業

- ・オミクロン株が出てきたが、コロナもインフルエンザと同様になるのではないかと。国内での新薬の開発が急がれる。
- ・原材料の高騰により、シリコンの価格が上昇、及び在庫不足が発生している。
- ・原材料高騰を価格に転嫁できず、採算が悪化している。
- ・年末年始に向かって需要も回復傾向であったが、野菜の数量減少、果物の単価高から、業績は引き続き厳しい見通しである。
- ・新潟県の公共事業の減少により、今後公共工事の減少が予想される。当社が建設会社に納入する建設資材の減少となる。
- ・公共資材卸売りの為、年末（降雪）までに注文集中（峠を越す）。

- ・ 経済政策、財政投資が不十分。

## ◎小売業

- ・ コロナが落ち着き、人々の動きも活発化しているように思うが、新しいコロナウイルスの対応に国は早い対策を示してほしい。そうでないとまた経済の疲弊が生じると考える。
- ・ ある程度回復は見られるものの、少なからず感染者が発生しており、新たな変異株の情報もある中で、本格的な消費回復には至っていない。
- ・ 今月は、最大の商戦であり、昨年は年末年始の大雪による大きなダメージを受けていたため、今月は、盛り返しを図りたい。
- ・ 今後の変異株の感染状況、または飲む治療薬の使用、3回目のワクチン接種次第で動向は変化する可能性あり。
- ・ ようやく寒さを感じるようになり、山沿いに遅い初冠雪が報じられていた。各地で冷え込みが強くなることから、施設は暖房が必要となるが、重油の高騰などで思うような温度管理ができない産地も出る可能性があり、国内産出荷も減少することを予想。
- ・ 国外品についてはいい夫婦の日に向けて品目は偏るが入荷があるだろう。今後しばらく葬儀需要中心の相場展開となる見通し。
- ・ オミクロン株で業況は変わっていくと思うが、世の中が欲している商品売るために、アンテナを高くしている。
- ・ 二番煎じにならないですむ商品を見つけていこうと思う。
- ・ 新潟日報に出ていました(株)コバリキ様のように業態を変えてでも生き残りに掛けたい。

## ◎サービス業

- ・ コロナに罹患する人の数が大幅に減少し、このまま落ち着いて忘新年会シーズンに入ってほしかったが、オミクロン株の影響がどの程度出てくるのか心配。
- ・ 従業員の高齢化、長引くコロナウイルスによる影響で疲労がたまり体調を崩しがち。忘新年会で人流が増えることに期待。
- ・ タクシー業では年間で最も忙しい月であり、予算の達成が目標となるが、人流に大きな増加が無く達成は厳しいか。
- ・ 一方、少しずつではあるが県外からの出張を聞くようになっている。来年度以降の見積り依頼も増加しており、来春からは期待が持てそう。
- ・ ところがここに来てオミクロン・第6波と、期待が確信となるにはまだまだ不安が大きい。
- ・ 1月、2月は毎年売上が伸びず、オミクロン株の影響も出てくると思う。今後3ヵ月は売上が今月と変わらなければ「よし」と考えている。
- ・ コロナ感染者が減少している一方、変異株・オミクロン株などが出て来た事で人の動きが安定しない。様子を見られている方が多いように思う。年内、来年も含めて回復には時間がかかるように思われる。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で生活スタイルの変化が起きている。
- ・ 今後のオミクロン株の感染拡大状況で消費行動に影響があれば営業に支障をきたす恐れがある。
- ・ 感染を抑制し、社会生活の安定を確保することが経済の回復を後押しできる。
- ・ 今後の課題は、食材や商材の価格上昇、人件費の上昇、人手不足をどう解決できるかにかかっている。
- ・ 建築設計業界はウッドショックで作業が進まずかなり大変だった。また、半導体不足で設備機器が思

うように入荷されず、現場で遅れが出ている。

- ・コロナが停滞したら不動産が一挙に動き出した。今後に大いに期待できるが、建設関係の資材高騰も凄まじく、工事業者の人員不足も目立つようになり、どこまで影響してくるか予断を許さない状況である。
- ・新たな変異株の出現で、緩みかけた景気向上に再び危機感を感じている。忘年会の時期だが、金曜日だけの賑わいを感じている。他の曜日に期待は持てない。
- ・燃料や他の部品関係の高騰、人件費増などが収支バランスを崩している。
- ・イベント関係が徐々に復活しつつあり、それに伴った受注も期待される。
- ・ただ、まだ新型コロナ以前の業況には遠いにも関わらず原材料が次々と値上がりし、より厳しい状況になりつつある。
- ・全体の景気が向上し経済が回って活発になることを願う。
- ・原油価格が高止まりしており、予断を許さない状況。
- ・会社のイベントの中止により福利厚生費予算の見直しを行なっている。